

西川松洞 にしがわまつどう 俳人。山形縣生れ、生没年不詳。本名彦右衛門。別  
 號四方田、四田、比古所、松洞門。父は漢詩人西川菊畦。大正二年可  
 作を始り、翌年同志と春歌社を結び、のち主宰。また大須賀均軒と親  
 交のありた父を介して、その子大須賀之字、心飾等した。

著書 『松洞句集』 (大正十年晩秋・物台刊) 等。

